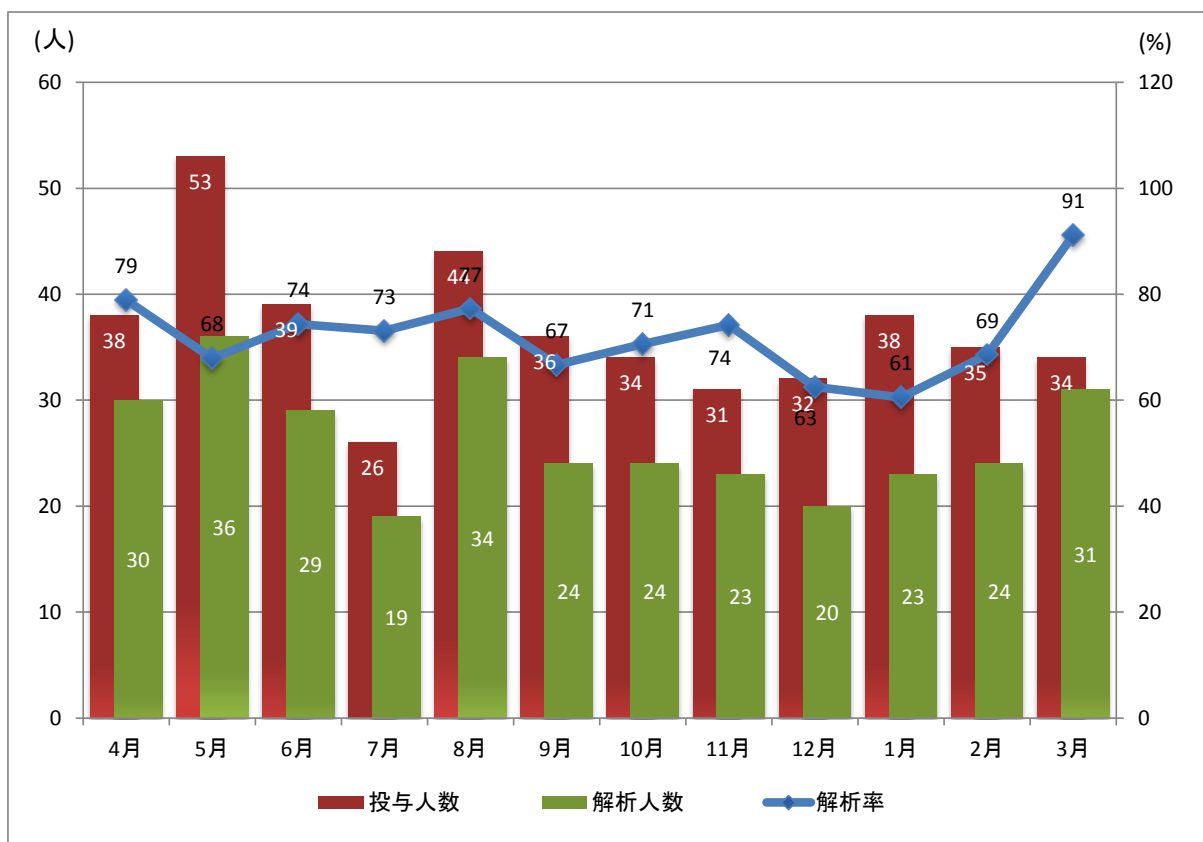


1 7. VCM・TEIC・ABK3 剤血中濃度測定解析率



抗 MRSA 薬であるバンコマイシン、テイコプラニン、アルベカシンの 3 剤について血中濃度測定を実施し、TDM 解析率を示したグラフである。投与期間が 3 日以内の患者は除外している。

血中濃度測定は、有効血中濃度と中毒域の幅が狭く、副作用の強い薬剤に対して実施されている。副作用防止のために、血中濃度測定を行うことで、抗 MRSA 薬の有効性、安全性を評価する事が可能である。また特定薬剤治療管理料の算定も可能であり、本来であれば 3 日以上連続して投与されている患者に対し、100%での実施が望まれる。しかし、80~90%の実施状況であり、不十分と言える。ICT 及び薬剤部が積極的な指導を行っているが、十分に浸透していない。適切な抗菌薬の投与により、患者の回復が促がされ、また耐性菌の発生も抑えられるため、更なる TDM 遵守率の上昇が望まれる。

データ提供：医療の質・安全対策部 感染対策室